

# 地域振興県土警察常任委員会資料

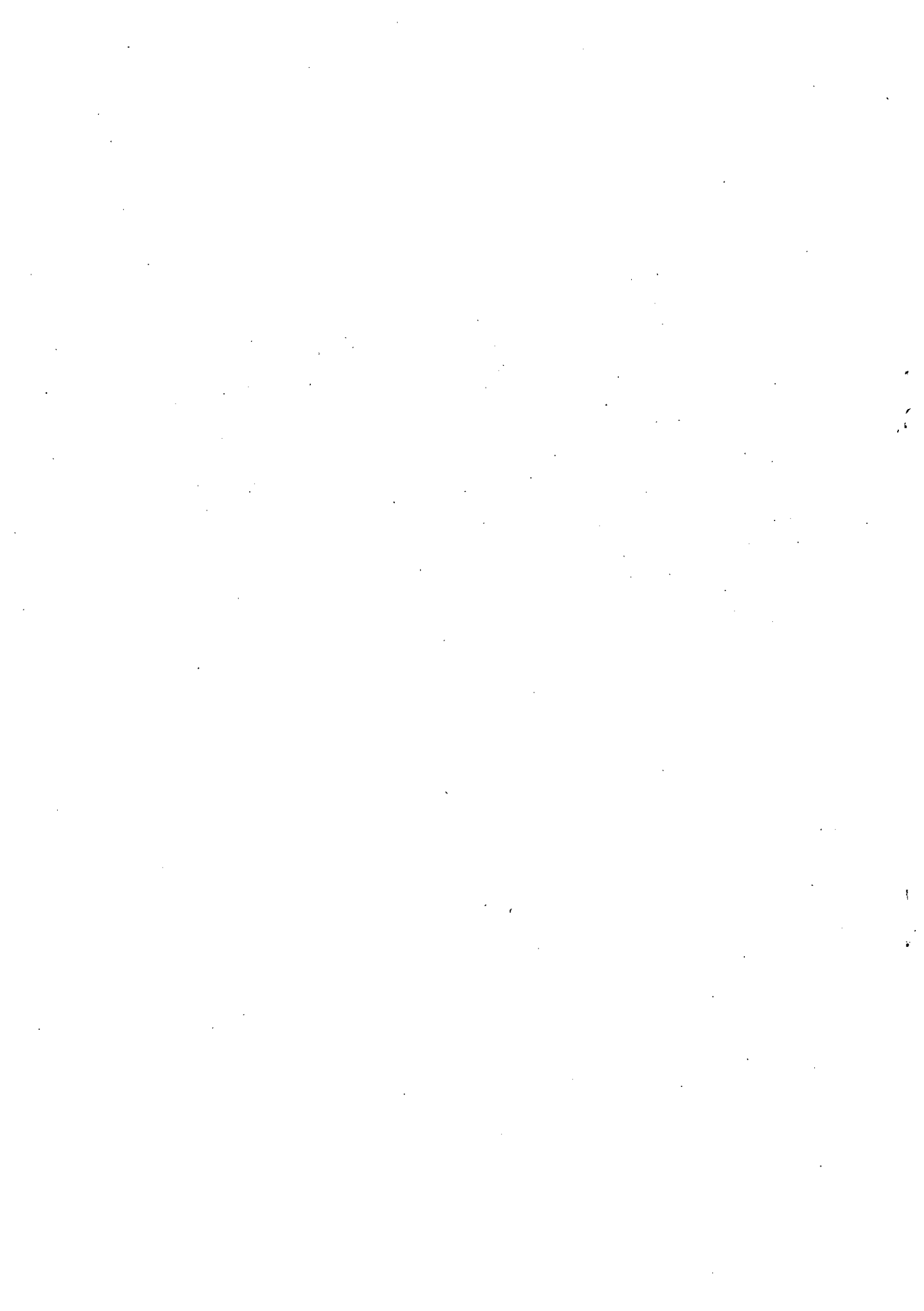
(平成30年3月6日)

[件名]

- 1 島根原子力発電所2号機の中央制御室空調換気系ダクト腐食等の  
住民説明会の開催結果について

(原子力安全対策課) … 1

危機管理局



# 島根原子力発電所2号機の中央制御室空調換気系ダクト腐食等の住民説明会の開催結果について

平成30年3月6日  
原子力安全対策課

平成28年12月8日に判明した島根原子力発電所2号機の中央制御室空調換気系ダクト腐食事案及び新規制基準適合性審査の状況(基準地震動)について、3月1日に中国電力主催による住民説明会が開催されました。

なお、中国電力は、2月28日に松江市で住民説明会を実施しています。

## 1 住民説明会開催に至る背景

島根原子力発電所2号機の中央制御室空調換気系ダクトに腐食孔(横約100cm、縦約30cm)があることが判明した事案に関して、1月31日の原子力規制委員会において、中国電力が報告した中央制御室空調換気系ダクト腐食事案の原因と再発防止対策について了承されるとともに、国際原子力・放射線事象評価尺度(INES:イネス)の「レベル1(逸脱)」に該当すると評価された。

また、中国電力は、宍道断層の評価長さを従前の22kmから39kmに見直したこと等により島根原子力発電所の耐震設計に必要となる地震動の大きさ(基準地震動)を申請当初の600ガルから820ガルに見直し、2月16日の新規制基準適合性審査会合で、原子力規制委員会に了承された。

県は中国電力に対して、ダクト腐食事案の報告時(平成28年12月8日、同月16日)及び原子力安全対策プロジェクトチーム会議(2月21日)の際に、住民への説明をはじめとして積極的かつ分かりやすい説明を求めている。

## 2 住民説明会の概要

(1) 日時 3月1日(木)午後7時から午後8時40分まで

(2) 場所 境港シンフォニーガーデン(境港市文化ホール:境港市中野町2050)

(3) 参加者 住民等約26名

(4) 中国電力の説明内容(説明者 岩崎昭正 島根原子力本部長 ほか)

ア 島根原子力発電所2号機の中央制御室空調換気系ダクト腐食について

中国電力が提出した推定原因と再発防止対策が国に了承されるとともに、国際原子力・放射線事象評価尺度(INES:イネス)の「レベル1(逸脱)」に該当すると評価され、今後は、再発防止対策の実施状況等について国による保安検査等で確認される。

イ 島根原子力発電所2号機の新規制基準への適合性審査の状況(基準地震動)について

宍道断層の評価長さの延長が了承され、耐震設計に必要となる地震動の大きさが決まり、今後の審査では、プラントの耐震性等について審査が行われる。

## 3 主な質疑応答

(1) 島根原子力発電所2号機の中央制御室空調換気系ダクト腐食について

(参加者):ダクトの腐食はいつから発生していたのか。

(中国電力):平成元年から運転しており、徐々に内面から腐食していったと考えられる。腐食発生時期は分からない。

(参加者):点検がおろそかになっていたのではないか。点検頻度の考え方を示してほしい。

い。

(中国電力) : 発電所が営業運転し、停止点検するまでの1サイクル(13か月)の期間内において、過去、腐食が発生したという事例はないことから、外気取入れラインの内面点検を最短で点検できる間隔(1サイクル)で実施する。外気取入れライン以外の腐食は今回確認できなかったが、念のため点検頻度を6サイクルで設定している。

(2) 島根原子力発電所2号機の新規制基準への適合性審査の状況(基準地震動)について

(参加者) : 敷地前面海域の断層は連動すると評価しているのに、宍道断層と鳥取沖西部断層は連動しないと評価している理由は何か。

(中国電力) : 敷地前面海域の断層は独自の断層であると評価しているが、近接しているため、連動するものとして評価している。宍道断層と鳥取沖西部断層については、音波探査等の調査の結果、連動しないと評価した。

(参加者) : 宍道断層の評価長さが延びたが今後も延びていく可能性があるのか。

(中国電力) : 最新の知見などを反映し、調査をした結果延びた。今後も、新しい知見によって延びる可能性はある。